

25journal

society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

終戦から79年。戦争を後世に伝え、平和の尊さを考える「平和のつどい」市民が語り継ぐ昭和」が8月18日、福生市民会館で開催された。市民ら約150人が参加した。

1988(63)年からつどいは福生市が主催。森田さんは世界恐慌が起きた1929(昭和4)年生まれ。6歳の時には父親に連れられ、



森田さんが激動の時代を語る

和4)年生まれ。6歳の時には父親に連れられ、

戦局が厳しくなるにつれ、軍事教練が厳しくなってきた。勤労奉仕として陸軍航空工廠で働き、空襲も体験。防空壕から見上げた空ではB29を迎え撃つ日本の戦闘機との空中戦も見た。

「戦後、日本は大国の仲間入りを果たした。その中で戦争を放棄した国は日本だけ。平和のために果たす役割は大きい」と結んだ。

同市在住のシンガー、もんでんけんじさんによるコンサートが開かれ、「平和の歌」「東京ブギウギ」などを披露した。司会などの運営は伊東穂さんら5人の都立福生高校、多摩工科大学の生徒が担当した。

情報の提供は 090-8460 - 9688
上記題字のメールアドレスまで。

東京西徳洲会病院 (昭島市松原町)は8月3日、「高校生のための医療職体験エキスポ」を開催した。都内や神奈川県から30人が参加。医療の話聞き、現場を見て、仕事を体験した。



医療職体験エキスポには定員いっぱいの30人が参加

このうち検査科では、超音波診断装置を使って頸静脈のエコー検査を実施。画像を見ながら看護師から説明を受けた。薬剤部では処方箋に従って薬を揃える作業を体験。薬品名の確認をバーコード読み取り機などを活用することで、ダブルチェック



「隣接するイトーヨーカドー跡地に新病棟を建設する計画がある。医療職体験エキスポを通し、将来の目標に医療職がなればうれしい。新しい病棟で皆さんと働けたら」と呼びかけた。

東京西徳洲会病院 高校生のための医療職体験エキスポ開催

ツアー形式で看護部、薬剤部など現場回る

当日は2時間半ほど、ツアー形式で院内の看護部、検査科、薬剤部、放射線科、栄養科、リハビリテーション科、クリニカルエンジニアリングの現場を見学。仕事内容の説明に耳を傾け、実際に仕事を体験した。

エックしていることを学んだ。

生命維持管理装置の操作と保守点検を行うクリニカルエンジニア(臨床工学技士)からは並べられた人工呼吸器や人工透析機を見ながら役割や使い方法などの説明を受けた。看護部では静脈路確保、心臓、社会福祉士、臨床心理士、歯科衛生士の仕事を学び、モデル人形を使い静脈内に針やチューブを留置して輸液路を確保する処置を体験した。

皆川孝雄事務長は「隣接するイトーヨーカドー跡地に新病棟を建設する計画がある。医療職体験エキスポを通し、将来の目標に医療職がなればうれしい。新しい病棟で皆さんと働けたら」と呼びかけた。

地域ともに25年、家庭的で温もりあるケアが安心と信頼を育んでいます。

老人デイサービスセンター 福楽園
高齢者在宅サービス増設センター

社会福祉法人 豊生会 特別養護老人ホーム福楽園

TEL: 042-596-4112 FAX: 042-596-4176

高品質なサービス きめ細やかなサポート

テレビ 豪華専門チャンネル・地域コミュニティ番組
インターネット 超高速 光2.5Gbps!
電話 番号そのまま、節約固定電話

多摩ケーブルネットワーク

0428-32-1351
www.t-net.ne.jp